

ニュース さよなら原発 第53号 2017.4.11 発行



さよなら原発ひたちなか市実行委員会

連絡先：ひたちなか市馬渡 2824-63 佐藤 英一 TEL:029-273-4775

ホームページ： <http://sayonaragenppatu.wixsite.com/mysite>

県知事への「30万署名」(現在304,063筆)をさらに積み上げ、あなたの声で「再稼働ストップ！」

日本原電 市民の願い無視し

「東海第二原発 運転延長・再稼働」に意欲

周辺6市・村の首長に回答 (3/24)

東海第二原発は来年11月に40年運転期間が終了します。廃炉にせず運転を継続するには、延長の認可が必要です。認可申請ができるのは、今年8月～11月の間です。申請前に原発の特別点検が必要で、東海第二を運営する日本原電(株)は4月から点検を始めるとしています。

また同社は3月24日、周辺6市村の「安全協定枠組み拡大」要求に回答。回答は、要求の核心である市村の事前了解要求*を棚上げにする一方、「合意づくりの協議会」の設置を逆提案(全文は本会HPに)。協議会では、原発機器に対する市村の疑問・不安に誠意を尽くす姿勢を見せて「異議なし」の状態をつくり、再稼働に持ち込むねらいが透けて見えます。

6市村に対して当初の事前了解制を守るように強く要望します。

東海第二の運転延長は、私たちの命とくらしに直結した問題です。一人ひとりの市民として悔いを残さないように向き合いたいです。

*東海村、ひたちなか市、那珂市、常陸太田市、日立市、水戸市の周辺6市村は、原発事故で被害を受けるのは同等であるから、再稼働でも6市村から同等に事前了解を取ることを日本原電に要求しています。

沸き起こる 東海第二原発 再稼働反対の声

3万6千人 東海では
原発問題相談会が「さよなら原発」東海ニュース1万5千枚を1月と3月に村内全戸に配布し、「再稼働反対」を呼びかけています。また、東海村平和委員会は1月から毎週水曜日に村内各所で街頭宣伝を行っています。



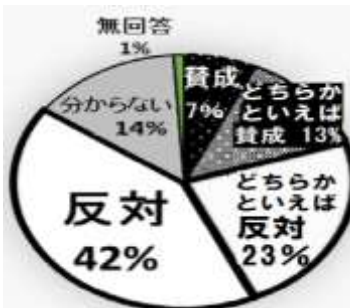
27万人 水戸でも
毎週金曜日の**原発前抗議行動**は4月7日226回目。この4年半、雨の日も風の日も続いています。



18万人 日立でも
毎週土曜、毎月11日など日立駅や大甕駅前では、茨城大名誉教授の小林正典氏(下の写真)を始め、東海第二原発再稼働ストップ日立市民の会の皆さんが「20年延長再稼働反対」の訴えや署名活動を行っています。



5万4千人 那珂でも
那珂市のH28年度市民アンケート。「東海第二発電所の再稼働について、あなたはどのように思いますか」の問に、「**反対**」が「**賛成**」の3倍を超えました。



7万6千人 笠間でも
3月21日、笠間市が栃木県内の5市町と東海第二原発事故に伴う避難者(3万6千人)受入れを定めた協定を結んだことに、市民から不安の声が上がり、東海第二原発の「20年延長申請」に反対する請願署名が6月議会に向けて始まりました。

つくばでも
「脱原発をめざす首長会議」に市長が入会。裏面も見えね。



東海第二原発への 声

声

皆さんの声・つばやき
お寄せ下さい。
TEL/FAX: 029-273-4775

60代 男性 (長砂)

男性: 東海村の人は国から一杯カネが来て、生活が染まってしまっているのだから反対が言えない。自分勝手だよ。オレにも1億円ぐらい賠償してくれるなら原発を動かしてもいい。

会員: 逃げ先で、賠償金で家を建てれば、「賠償金で豪邸造った」と言われてイジメを受けるだけでは? どこへ逃げても茨城弁は隠せないからすぐわかってしまう。

男性: うむ・・・原発がどこかに引っ越せばいいんだ・・・。

40代 女性 (前渡小学校区)

会員: 原発反対のニュースです。

女性: 私、創価学会だけど、原発ない方がいいと思う。

会員: 日立市の公明党 井手県議は、はっきりと東海第二再稼働反対といっていますよね。

女性: でも、ほかの議員は見えて来ないわね。

会員: だからこそ市民の声が必要です。

3/8、インターネット上の
情報サイト「AbemaTV」

小泉元首相が、また批判 「どうかしてるよ!」 安倍政権の原発政策

小泉元首相は「原発に頼らないで、太陽、風、地熱、水力、潮力などの自然エネルギーで経済発展させる方がはるかに安全でいい国になる」「(安倍政権は) どうかしてるよ。安全でもないのに。その発想がわからない」と原発推進政策を批判。さらに自民党の半数が内心では小泉氏の持論に賛成で「首相が『やる』といえればできる。国民だって支持する。」と主張しています。

五十嵐立青・つくば市長が

「脱原発をめざす首長会議」に入会

この会議は市民の生命・財産を守るため、原発をなくすことを目的に全国で活躍。県内では、

五十嵐立青・つくば市長 今泉文彦・石岡市長
島田穰一・小美玉市長 豊田稔・北茨城市長
中島栄・美浦村長 市川紀行・元・美浦村長
先崎千尋・元・瓜連町長
宮嶋光昭・元・かすみがうら市長
村上達也・元・東海村長・首長会議世話人 (9名)

廃炉への署名にご協力を!!

「東海第二原発は廃炉に」と、これまでに県知事・東海村長、水戸・ひたちなか・那珂・常陸太田・日立市長に次の署名を提出しました。①「安全協定の権限拡大」署名 42,605 筆
②「20年延長申請反対」署名 45,559 筆。署名は継続中で、最終提出は7月です。

恐れ入りますが、佐藤英一 (312-0012 ひたちなか市馬渡 2824-63) までお届けください。
(署名用紙は本会ホームページから印刷できます。ご連絡いただければお送りします。)

放射線測定ボランティア・正治さんが、測ってみると?



0.42 $\mu\text{Sv/h}$

2017 4/5 (水) ひたちなか市馬渡。前渡小学校の裏手、「追分三差路」を向野団地方向に道を約 250m 行った風致林の大きな杉から北西へ約 1m 離れた 1m 高さです。ここも R245 周辺で、2011 年 3 月の福島原発事故の年は、この 3 倍の $1.2 \mu\text{Sv/h}$ 以上はあったでしょう。なお写真左の道の奥に向野団地東の沢があり、沢の中央辺りに旧浄化施設跡があって、そこの三本のヒバの下 1m の高さでは $0.27 \mu\text{Sv/h}$ と結構ありました。

1) 単位は $\mu\text{Sv/h}$ (マイクロシーベルト毎時)。

*「2011 年の原発事故」前は $0.05 \sim 0.02 \mu\text{Sv/h}$ 。

2) 測定器は HORIBA PA1000 Radi ; 測定者は正治。

セシウムからの放射線は測定を開始した 2012 年 4 月から 3 年後に約半分に減りました。今後は減り方がゆるやかになるので半減するのに約 30 年かかると推定されます。樹木の根元に濃縮されがちなので要注意です。